

水稲の生産性向上と低コスト化による組合員の利益増進へ

【類 型】 WCS + 食用米 + 栗 + 水稲作業受託

【組 織 名】 農事組合法人大野見野の風
(平成28年3月設立)

【所 在】 高知県中土佐町大野見

【構成戸数】 14戸

【経営規模（令和6年度実績）】

稲WCS 4.81ha

主食用米 0.7 ha

栗 0.73ha

作業受託

・育苗	2,860枚	・畔塗り	22.96ha	・田植	16.57ha
・稲刈り	20.93ha	・粃摺り	4,108袋		
・代かき	4.26ha	・防除	81.44ha		



設立総会

設立の経緯

- 中土佐町大野見地区の長野集落、榎野々集落及び三ツ又集落は、第1期中山間地域等直接支払制度を機に地域の農業や集落の将来について話し合うようになり、平成12～13年、各集落に長野営農組合、榎野々営農組合、三ツ又営農組合を設立。
- 平成27年度第4期中山間地域等直接支払制度において、集落協定を合併して広域化するための検討を始め、集積する農地の担い手として、3つの集落営農組織の合併に向け協議を重ね、平成28年3月の法人設立に至った。

取組の特徴・効果

- 法人設立後、集落住民の高齢化等もあり、年々水稲の作業受託面積が増加。法人での共同育苗など効率的な受託作業を実践。
- 法人の今後の方向に基づき新たな機械（田植機等）を整備。
- 地域の畜産農家との耕畜連携により、稲WCS（ホールクロップサイレージ）の生産に取り組み、専用品種‘たちすずか’の栽培の効率化、収量増加及び品質向上に取り組んでいる。

【具体的な取組内容】

作付作物	合計面積 (m ²)	筆数	平均面積 (m ²)	最大面積 (m ²)	最小面積 (m ²)	地名
主食用米	3,440	3	1,147	2,080	510	奈路
	1,282	1	1,282	1,282	1,282	伊勢川
	2,350	1	2,350	2,350	2,350	槇野々
稲WCS	46,000	26	1,769	3,120	370	奈路
	2,130	2	1,065	1,380	750	伊勢川



役員会による意思決定



稲WCS収穫風景



稲WCS育苗に関する研修

【主な機械・施設】

機械・施設名	能力	導入事業等	
		事業名等	実施年度
乾燥機（2台）	30石/1台	集落営農支援事業	H29
コンバイン	60PS・4条刈	集落営農支援事業	H29
田植え機	21.3PS・6条植	集落営農支援事業	H30
播種機	340・420/箱/時	集落営農支援事業	H30
防除用マルチローター （1機）		地域営農支援事業	R2
田植え機	21.3PS・6条植	地域営農支援事業	R3
防除用マルチローター （1機）		農業経営基盤強化準備金制度	R4
糶摺り機一式（1台）		農業経営基盤強化準備金制度	R4
乾燥機（1台）	21石/1台	農業経営基盤強化準備金制度	R5
糶摺り機一式（1台）		農業経営基盤強化準備金制度	R6
乾燥機（1台）	20石/1台	農業経営基盤強化準備金制度	R6

※その他の施設・機械は既存の2つの集落営農組織から無償で借受

倉庫（3ヶ所）、コンバイン（2台）、乾燥機（5機）、穀物搬送機（4台）、粗選機、ブリッジ、フォークリフト（1台）、畔塗り機、畦塗り機牽引用トラクター

【課題・今後の取組】

- 法人としての事業戦略づくり
- 中山間地域等直接支払の協定地域で耕作放棄地を出さないようにする
- 稲WCSの収量・品質の改善（育苗・施肥・栽培管理等）